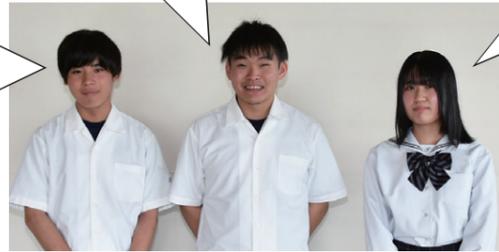


農林課の仕事は、事務作業をしたり外作業をしたり、たくさんの方がいろいろな仕事をしています。驚きました。

地域の人たちとの触れ合いや実際の声を聞いて、1人1人思っていることが違うと感じました。学ぶことの多い3日間でした。

現地に足を運んで、現地の人の声を聞いて地域活性化に向けた企画立案をする良い経験ができました。



左から阿部さん、佐藤さん、二瓶さん

猪苗代高生が町内でインターシッパ



中ノ沢の現地調査でメモを取る二瓶さんと佐藤さん(右2人目から) アグリいなで電気柵を設置する阿部さん

猪苗代高の2年生23人は7月9日から11日までの3日間、町内の事業所などでインターシッパ(就業体験学習)を行いました。このうち3人が役場の仕事を体験。阿部友亮さんは農林課で、鳥獣を追い払う花火の発射台を作ったり、電気柵の設置などを行いました。佐藤遥斗さんと二瓶愛莉さんは商工観光課で、中ノ沢温泉の現地確認や地域の未来づくりの事例などを学びました。

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！  
地域おこし協力隊  
たくみ  
荒井 巧巳さん

主な活動内容：観光振興・インバウンド集客など



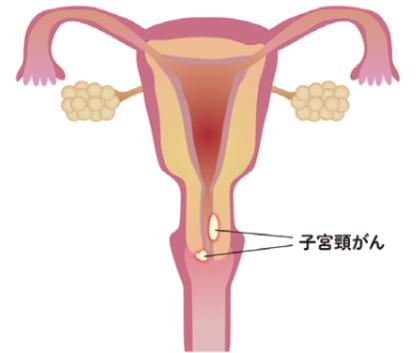
初めまして。7月から商工観光課の地域おこし協力隊に着任した荒井巧巳です。私は東京生まれですが、幼少期からスキーをしており、大学入学と同時にプロスキーサーキットに参戦。現在はプロスキーヤーとしてだけでなく、スキーメーカーのアドバイザーとしても活動しています。地域おこし協力隊としては、インバウンド集客に取り組んでいきます。一人でも多くのインバウンドユーザーが猪苗代を訪れ、さまざまな体験をすることで、笑顔になってほしいと思います。そのために、今までの経験を生かし、多くの人たちに猪苗代でドキドキ体験「イ・ナ・ド・キ」を味わってもらえるように頑張ります。

また、地域の人たちと猪苗代を訪れる人たちがいつでも笑顔でいられるような町作りにも取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく願います。

子宮頸がん予防  
HPVワクチンとがん検診を受けましょう

子宮頸がんとは

子宮頸がんは子宮の入口にできるがんのことで、子宮頸がんの95%以上がヒトパピローマウイルス(HPV)の感染によるものです。30歳代から40歳代の女性に多いがんですが、近年20歳代女性の発症も増加しています。毎年、全国で約1.1万人の女性が子宮頸がんになり、約3,000人の女性が亡くなっています。



ワクチン接種で  
HPV感染予防



子宮頸がん  
検診で  
早期発見・治療

HPVワクチン

HPVは女性の多くが一生涯に一度は感染するとされています。ワクチンを接種することにより、HPVの感染を防ぐことができます。

高校1年生とキャッチアップ接種対象の方へ

ワクチンを無料で受けることができるのは、令和7年3月までです。ワクチンは3回接種する必要があるため、9月頃までに1回目の接種を受けましょう。

●一般的な接種スケジュール(例:9月に1回目を受けた場合)



※いずれも、1年以内に接種を終えることが望ましい。  
※年齢やワクチンの種類によって、接種スケジュールは異なります。

HPVワクチンの対象者 (料金は無料)

- 定期予防接種: ※本来は5～9万円かかる予防接種です  
小学6年生～高校1年生相当の女性
- キャッチアップ接種:  
平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれでワクチン未接種の女性

子宮頸がん検診

検診を受診することで、がんの早期発見・治療に繋がり、命を落とすリスクが減ります。また、がんを早期に発見できれば、子宮を取らずに治療でき、がんになっても妊娠が可能な場合もあります。

子宮頸がん検診の対象者

- 20歳以上の女性

子宮頸がんはHPV感染以外にも原因があるので、定期的を受診しましょう

問い合わせ先

保健福祉課 健康づくり係 ☎(62)2115